

2023.1.21.神奈川県青少年の健全育成を進める県民大会
パネルディスカッション

これからの 子どもの居場所づくりと 地域の関わり



子どもの未来サポートオフィス
米田佐知子

米田佐知子 自己紹介



子どもの未来サポートオフィス 代表

<http://kodomomirai-so.com/>

- 子ども・子育て支援の社会資源をつなぐ
- 地域の中で人と人がつながり支えあう関係づくりを進める各種取り組みを応援。

<関わる組織・委員会など>

- * 関東学院大学非常勤講師
- * 横浜市青少年の地域活動拠点づくり事業推進会議アドバイザー
- * 南区子どもの居場所づくりネットワーク(事務局:子家・区社協)アドバイザー
- * 神奈川こども食堂・地域食堂ネットワーク・横浜こども食堂ネットワーク世話人
- * 横浜コミュニティカフェネットワーク世話人
- * かながわ生徒若者支援センター運営委員(高校内居場所カフェネットワーク)
- * NPO法人子育てひろば全国連絡協議会役員

街の中で、**居場所**がない

身の置きどころ

物理的

所属 役割・出番

精神的

まちで 子どもを 育てよう

まちで育てる
地域のモノ・ヒトの活用

●
同じまちでも違った
視点で歩けば見つかる
多様なアイテム

まちで育つ
まちのモノ・ヒト・コト
と子どもがつながる

●
いろいろなルートで歩けば
気づく新しい
モノ・ヒト・場所

まち保育
machihoiku

4

つの
ステージ

まちが育てる
住民の「まちの子ども」
への関心を誘発

●
まちの子どもへの関心を
持つ人を育て、
その輪を広げる

まちが育つ
共に暮らすまちへ

●
子どもと共に
地域に浸透していくための
土壌づくり

子どもの成長とまちとの関係について (日常生活圏)

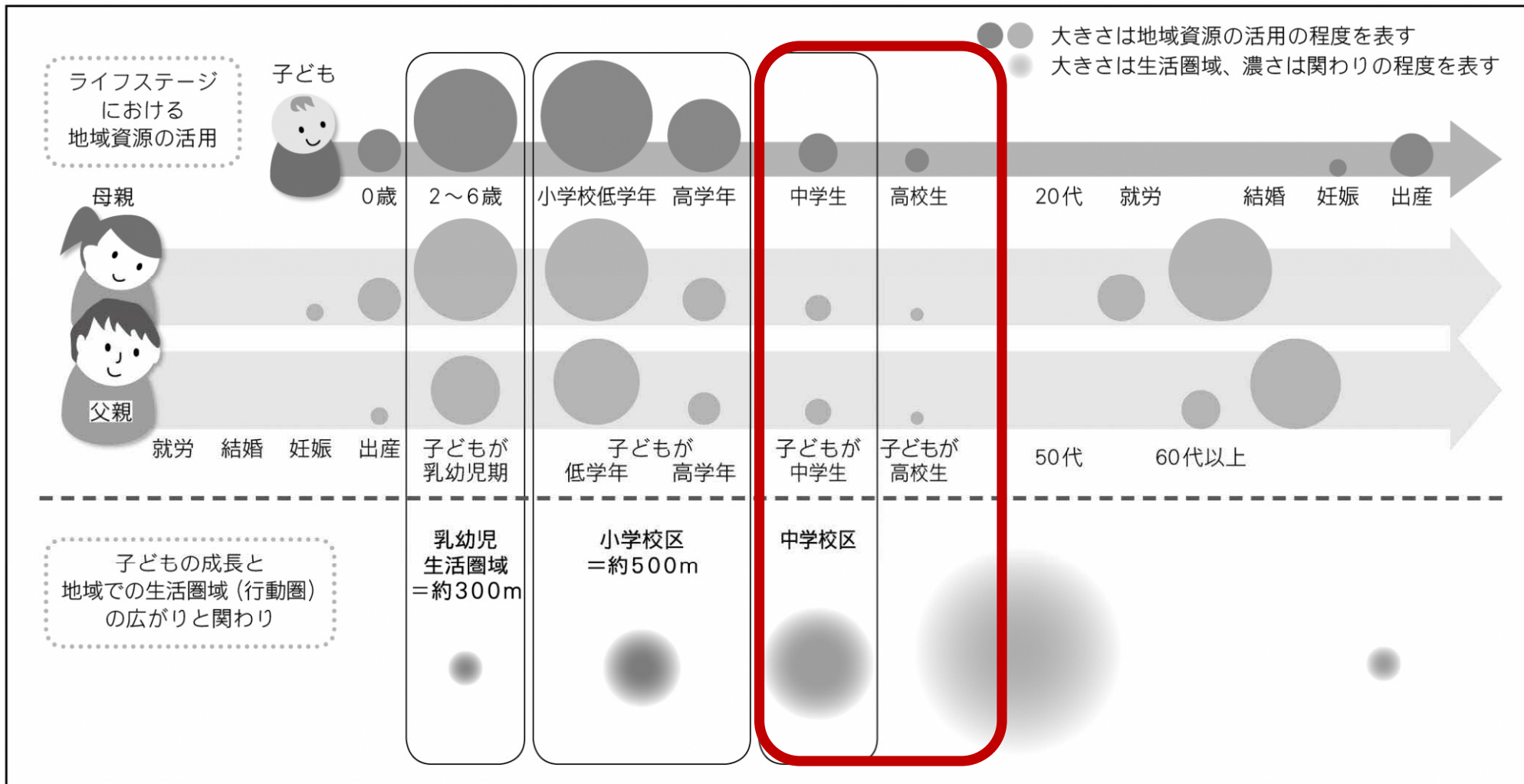
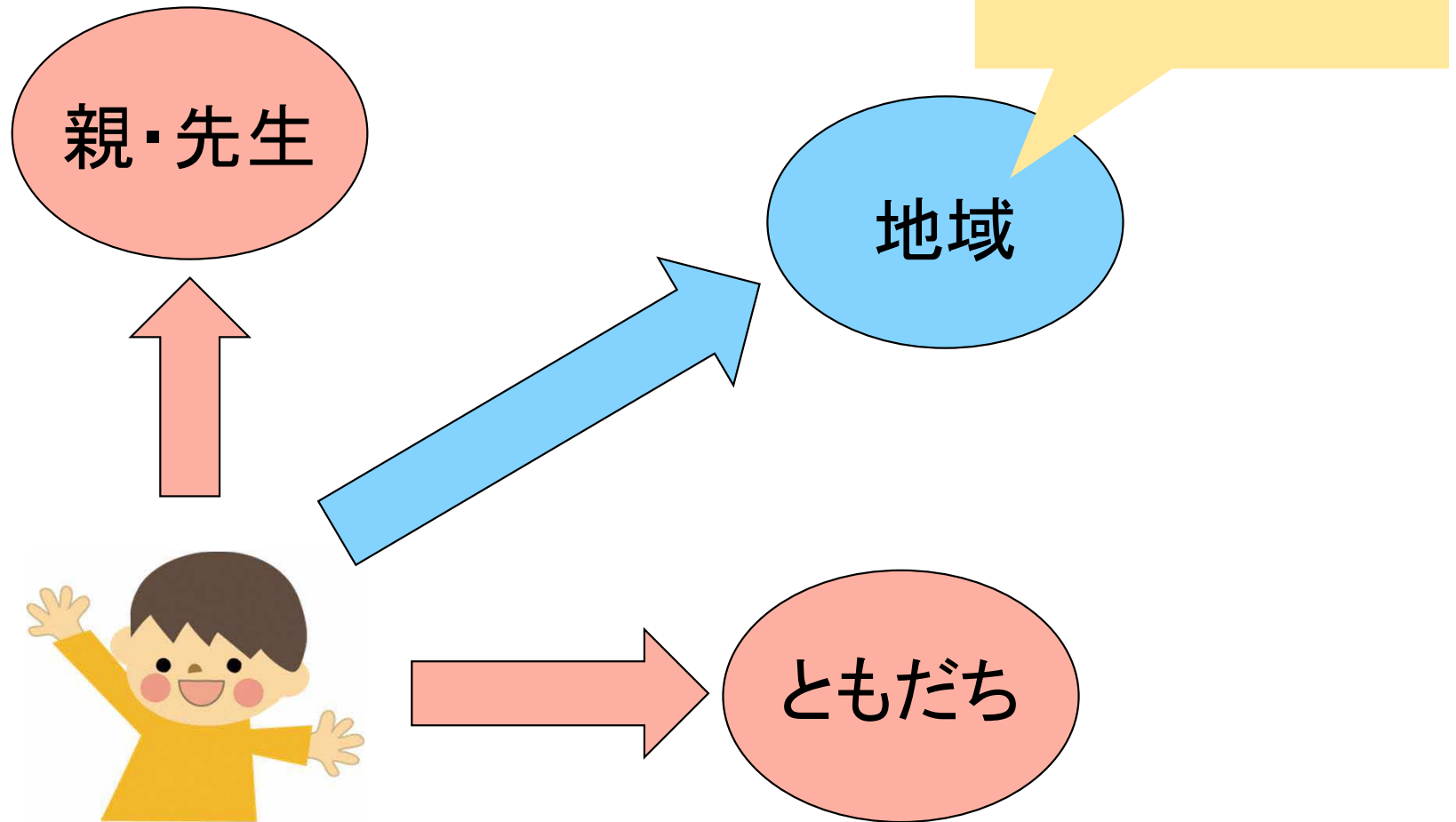


図3. 子どもの成長と地域との関係

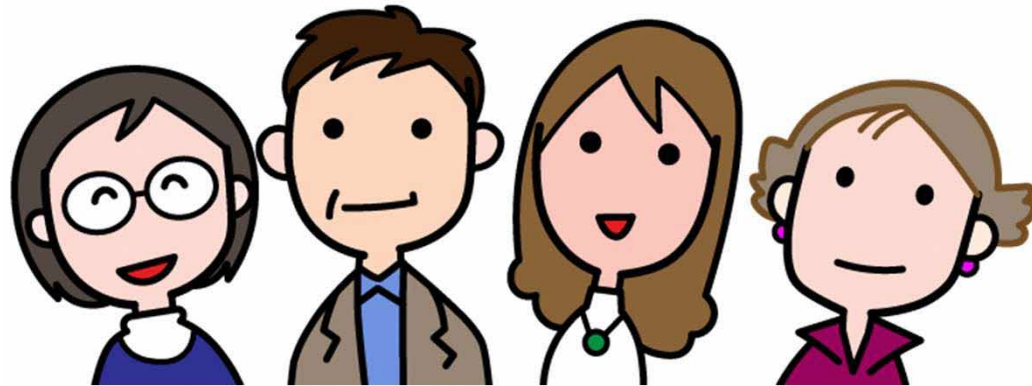
出典：『まち保育のスヌーおさんぼ・多世代交流・地域交流・防災・まちづくり』
2017年5月5日発刊（萌文社）より

子どもが育つには 多様なひとの関わりが必要



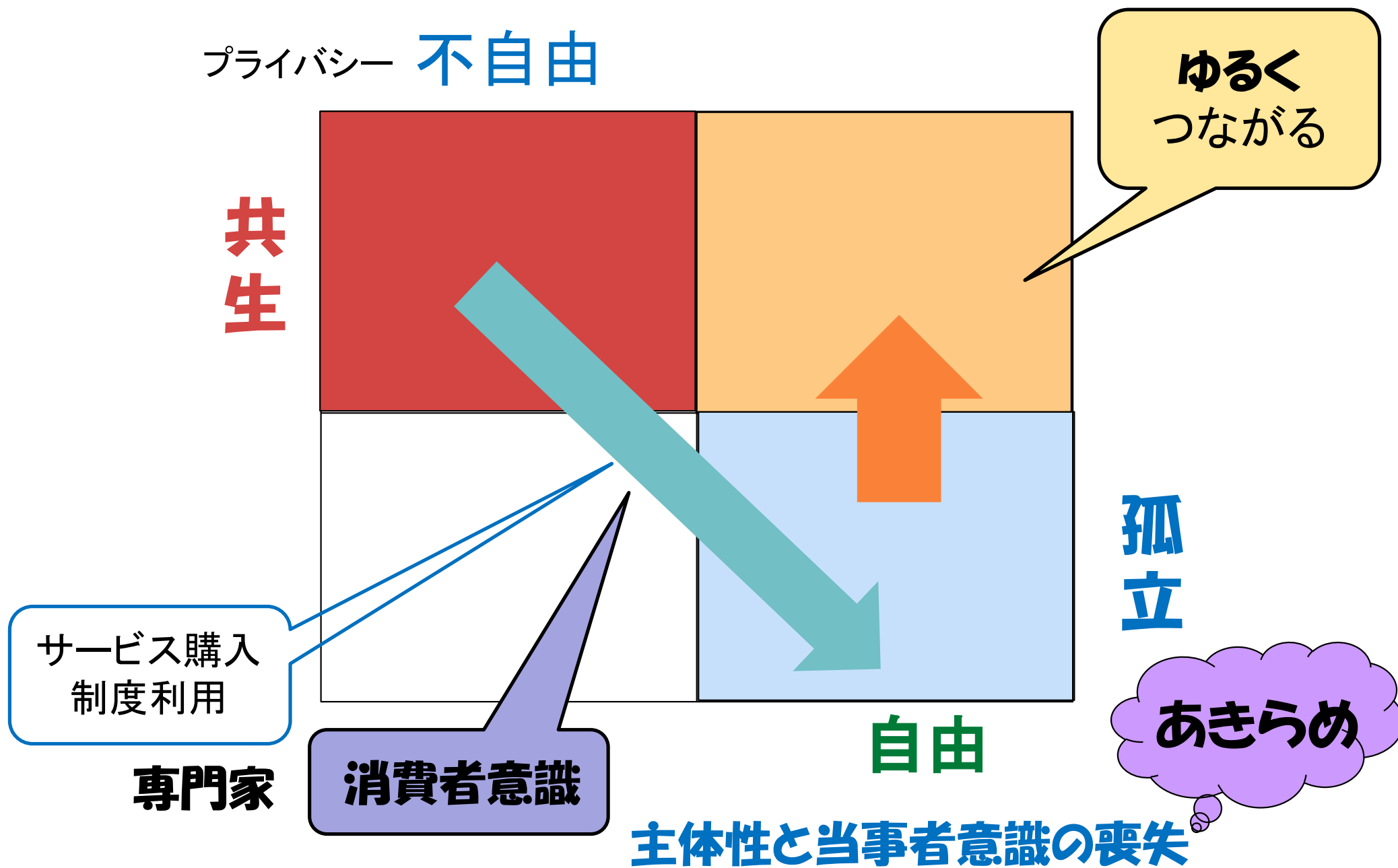
異年齢の多様な人と過ごす子どもは**1割以下**

顔見知りを増やそう



「子どもを気にかける大人」の
つながりづくり

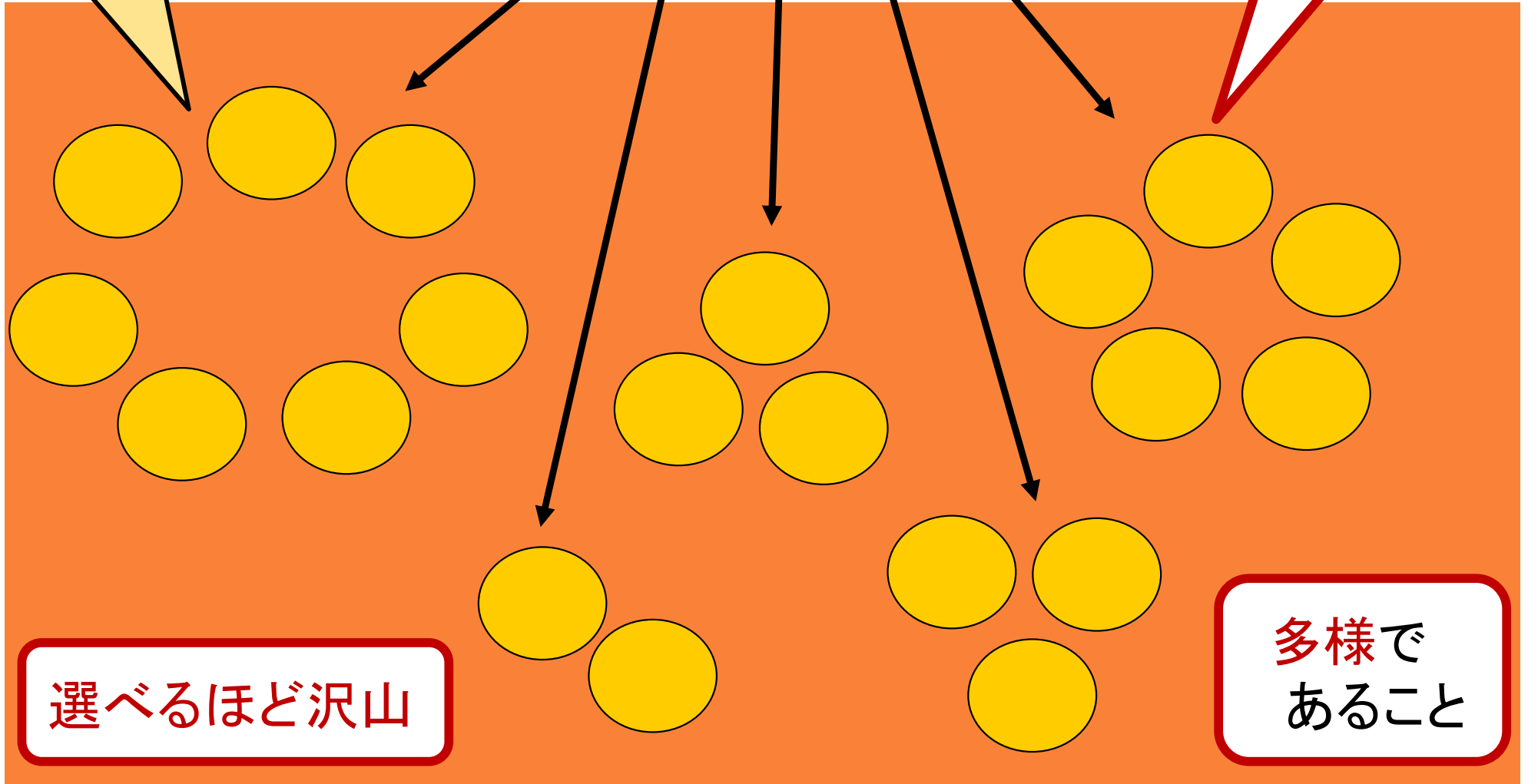
コミュニティと私たちの変化 (クルミドコーヒー 影山知明氏のコミュニティ整理を活用)



公的支援

ほっとできる居場所

ゆるい
つながり
出入り自由



選べるほど沢山

多様で
あること

生活圏

共通テーマ



×

多様なつながり



車の両輪のように、両方必要

青少年が集う場
仲間づくり
体験・相談

地域の多様な人
が集う場
多世代・助け合い



「こども食堂」

子どもが1人でも来られる場所で、
地域の人が、
無料・低額で食事を提供している

居場所で起こる変化

1 参加する→知り合いができる

→存在を認められる

2 活動する・役割ができる

→所属意識が生まれる

→仲間ができる・自分ごとになる

→エンパワメント

参加・主体

つながり

相互作用

3 地域のニーズ・資源とつながる

→孵化装置となる